

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	阿波保健福祉センター浴室棟 阿波地域農産物等活用型総合交流促進施設「あば交流館」
(2) 指定管理者	所在地 津山市山北 764 番地 5 名 称 株式会社 ガット 代表者 代表取締役 美甘 信吉
(3) 公の施設の所管部署	産業経済部 農業振興課
(4) 指定期間	平成21年4月1日～平成26年3月31日
(5) 評価対象期間	平成23年4月1日～平成24年3月31日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	阿波保健福祉センター浴室棟 47,624 人（前年度 51,885 人） 阿波地域農産物等活用型総合交流促進施設「あば交流館」 15,460 人（前年度 15,225 人）
(2) 事業の内容	温泉施設、飲食・宿泊施設の運営・管理及び自主事業 (阿波ウオーキング、フェッソーアート、阿波アート花まつり等)

3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額 72,751 千円（前年度 77,005 千円） 利用料金収入 63,423 千円 指定管理料 8,600 千円 その他の収入 728 千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額 78,465 千円（前年度 80,649 千円） 主な支出 人件費 28,570 千円 仕入・公告宣伝費 21,099 千円 光熱水費 14,820 千円 修繕・消耗品費等 6,355 千円 委託料 3,414 千円 負担金・公租公課 1,219 千円 その他 2,988 千円

4 総合評価結果

(1)指定管理者の評価	H23 年度は H22 年度のおかやま国民文化祭の翌年度に当たり影響もあるが、近年から続く景気後退の影響により利用客数が減少している。物販関係においては、どぶろくの製造免許を取得し、どぶろくアイスなどの特産品を開発し、意欲的に自主事業に取り組んでいる。これからも集客につながるイベントの開催や阿波地域を紹介する PR 活動また、特産品の開発・販売などの総合的な営業活動を、より一層力を注ぐ必要がある。
(2) アンケート調査の概要	温泉の泉質、温度、湯量・施設の設備やサービス・食事・土産物等についてアンケートを取り改善策や運営方法の道標としている。
(3) 市の評価	地域の特色を生かしたイベント等（阿波ウオーキング・チェンソーアート・阿波アート花まつり etc）を積極的に企画・実施し集客に努めている。 また、施設利用者等に利用者アンケートに基づく業務改善の実施などを行い適切な運営がなされているが、収支の面では赤字が続いており、今後の運営改善により黒字に転換できるように期待する。